

スクールホッターイベント

志水祭

from 志水小学校

一月十七日(土)に行われました『志水祭』を紹介します。

今年で五回目を迎える、子ども達が一番楽しみにしている学校の行事です。以前はもちつきとチャレラン大会(身近にあるものを利用した簡単な遊びに、記録で挑戦する競技)を児童だけで別々に行っていました。保護者からの要望もあり、五年前に親子のふれあいをテーマに、この二つを一つにまとめて志水祭としてはじめました。

もちつきには十名ほど、きな粉もち作りには三十名ほどの保護者の方々に手伝いいただきました。

児童は一年生から五年生までの各学級でチャレランを担当しました。一年生は「じゃんけん連続勝ち」「割りばしダーツ」「声のばし」、二年生は「洗面器お手玉投げ」「エスパールサイコロ」、三年生は「紙ごりのばし」「六角えんぴつ積み」、四年生は「空き缶積み」「シャトル飛ばし」、五年生は「豆つまみ皿うつし」「そうきんがけ競争」の十一のチャレランを行いました。

六年生はもちつき体験と喫茶『もっちり』を担当しました。喫茶『もっちり』では、出来上がったきな粉もちを全校児童



と保護者の皆さんに渡す仕事を行いました。

とても寒い日でしたが、多くの保護者の方々に参加していただき、どの会場も盛況でした。チャレランは、よい記録が出るたびに会場の中で大きな拍手と歓声が沸き起こっていました。

学校で子どもたちの様子を知っていただけでなく、親子で同じ競技をしてふれあうことができたように思います。

第七十五話

北部高等小学校の女生徒

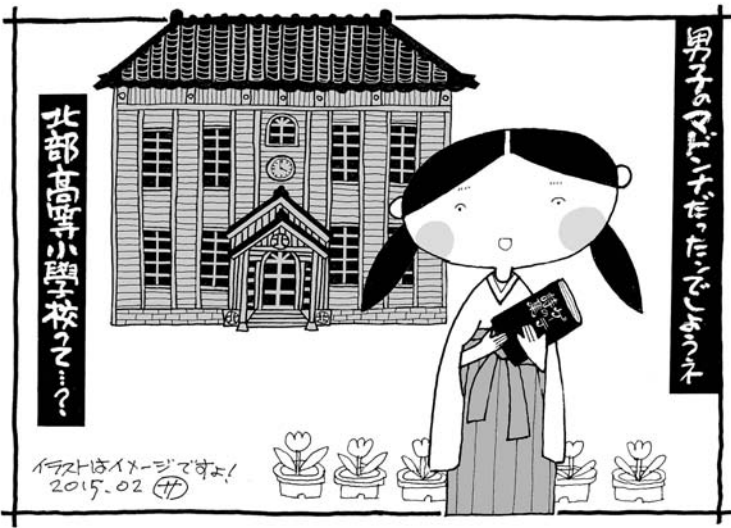
今では、小中学校は義務教育で九年間、誰でも社会生活に必要な最低限度の教育を受けられますし、高校へも90%以上の人が進学しています。もちろん男女の性差別はありません。

しかし、学校教育制度ができたばかりの明治時代は、学校といえば良家の子が行くところと思われており、誰もが毎日行ける場所ではありませんでした。

特に女性は男性より一段低く見られていたので、学問などは余分なことと親も子も思っていました。

けれど、良家の子女だけは特別で、義務教育の初等教育である尋常小学校の上、北名古屋市六ツ師にあった北部高等小学校へ通学した人が数人いました。その学校は西春日井郡の北部が学区であったので、北部高等小学校と言いました。

学区は、豊山村、北里村、師勝村、楠村の合併で広がったものの、生徒数は多くありませんでした。義務ではなかったのに、男性でも通学した人は少なかったようです。



女生徒は豊場から溝口まつさん、安藤ふかいさん、鬼頭やちよさん、師勝村からは、杉野まつさん、如意からは安藤かねのさん、九之坪からは上野さんの計六名でした。それぞれ地元では良家の子でした。

女子教育の先駆けの頃は、極めて生徒が少なかったのです。今は昔の物語です。

(豊山町文化財研究会の郷土文集を参考にしました)

まなびすと